

比嘉秀子
ひとり語り芝居
「続・生きる」

ねえ、ウトおばあ
あの時の話を聞かせて

結婚を前に沖縄に里帰りした孫に
ウトおばあはこれまでの人生を話し始める
おばあはおじいと畑を耕しながら
3人の子供たちと三線を弾きながら
楽しく暮らしていた
そんな中、戦争の影が忍び寄る・・・
戦前・戦中・戦後を生きてきたおばあ
誰に話すこともなく、黙し続けてきたおばあ
いつもの笑顔の影には、深い悲しみがあつた・・・



比嘉秀子(ひがひでこ)

沖縄県浦添市出身。20代の頃より、
うちなーぐちによる朗読を始め、
舞台・ラジオ・学校・カフェ等、沖縄県内外で
幅広く活動されてます。
近年は、朗読の集大成として
ひとり芝居を通して、沖縄の文化を
発信し続けられています。
劇団グランマ主宰
京都在住

今だから知ってほしい

沖縄戦の真実

全盲の三線奏者 玉城忍

沖縄・今帰仁村出身の父の
歌三線を聴いて育つ
2018年 三線の教師免許取得
現在、京都市内にて三線教室を主催

2025年 9月27日(土) 17:00開演

場所・沖縄食堂 いちゃいば

一般 1000円 ・子供さん(中学生以下)無料

お問い合わせ・ご予約は 075-279-3163 または 090-9715-1013まで

ご来場多数の場合は立ち見の可能性もございます

ご理解ください

当日、開演直前までお飲み物の販売はさせていただきますが

開演以降はすべての販売は終了とさせていただきます

(そば等の販売も無し)

当日15:00までは通常営業しております